



# 吉子川



令和7年12月10日(水)  
学校だよりNO. 59  
中島村立吉子川小学校  
発行責任者 校長 木戸美智子

## 【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

## 【よしコッピ】

吉子川小学校  
のあやめの花に  
住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの  
十か条 (12月)

説明は筋道立てて伝わるように  
相手意識でみがく表現力

## ◇ 言葉遣いは心使い～マザーテレサの言葉より～

思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。  
言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。  
行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。  
習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから。  
性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから。

## 【マザーテレサ】

1910年—1997年 (マケドニア)  
1979年長期間にわたる献身的な  
働きにより苦しみのなかにいる  
人々に安息をもたらしたことが  
認められノーベル平和賞を受賞

これはマザーテレサの言葉です。私が担任だったとき、高学年の道徳でよく教材にしていました。マザーテレサは、他にも数々の名言を残していますが、私は上の言葉が特に気に入っています。もちろん私自身に対する戒めの意味も含んでいます。自分ができていないから、これからを生きる小学生には、今から知っていてほしいという願いも込めてのことです。

吉子川小学校では、道徳教育に力を入れたり、挨拶運動や募金活動を推進したりすることにより、子どもたちの豊かな心を育む教育を実践しています。学習中や休み時間の子どもたちの乱れた言葉遣いやよくない行動には、その都度、諭したり振り返らせたりする指導もしています。そのような実践の成果でしょうか。本校には、いつも丁寧語で受け答えをする6年生のAさん、自主的に気持ちのよい挨拶ができる3年生のBさん、困っているお友達を優しく助けられる1年生のCさん等々、感動を与えてくれる子どもたちがたくさんいます。この子たちの心遣いは、ご家庭でのお教えも大きく影響を受けていると思います。今後も、子どもたちの運命が明るいものになるよう、保護者の皆様と連携していきたいと考えています。

毎日のように子どもたちと挨拶をしていると、短い言葉ですが、思いやり、優しさがこもっていて、「さあ、一日がんばるぞ」という気持ちなります。まさに、言葉遣いは心遣いですね。言葉には不思議な力があります。言葉の意味を伝えるだけでなく、心を伝えるものです。温かい言葉は、人の心を和ませ、冷たい言葉は、人を傷つけます。私たちの生活を振り返ってみると、一つの言葉で傷ついたり、一つの言葉で励まされたりした経験は誰でもあるのではないでしょうか。言葉をたくさんもっていると、考えが広がります。逆に、言葉が少ないと、考え方が狭くなります。相手に自分の思いを伝えるときも多くの言葉をもっていればうまく伝えることができます。

低学年の子どものけんかは、言葉が足りなくて、お互いの誤解が原因だったということがよくあります。自分の思いを自分の言葉で伝えるだけの「言葉の力」が十分高まっていないからです。このことからも分かるように、相手に自分の思いを伝えるときも、多くの言葉をもっていれば、うまく伝えることができます。

言葉を磨くためには、会話をすることです。  
もちろん読書することも大事です。  
言葉を磨くことは、人生を豊かにします。



「家族で会話を！家族で読書を！」

言葉を増やす機会を、たくさん作ってほしいと  
思います。